

鹿児島の植物⑩

黒島のスゲ

植物担当 大屋 哲

2009年5月12日～13日に黒島で植物調査を行いました。その時に見つけた、カヤツリグサ科スゲ属の植物を紹介します。

○フサカンスゲ
花期4月～5月

中之島と黒島特産のスゲです。黒島も中之島同様、



沢沿いの林内に生えていました。葉は5mm～1cm 緑色をしており、葉のふちが少しざらつきます。高さは40～100cmで、茎の節に3から8個の花をつけます。花は、雄雌性（先端が雄花で下部が雌花）です。

○キノクニスゲ

花期4月～5月

本州、四国、九州とトカラ列島に分布します。黒島では海岸近くの川沿いの崖に生えていました。葉は5～15mmで濃い緑色で厚く、高さは30～50cmです。果胞の上部が緑色で、下部が白色をしています。環境省の絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。



○その他、シラスゲ、ヒゲスゲ、トカラカンスゲ、アオミヤマカンスゲなどを採取し、標本化しました。他では見ることのできない特徴的なスゲの生える黒島で調査できたことは非常によかったと思います。

○その他、シラスゲ、ヒゲスゲ、トカラカンスゲ、アオミヤマカンスゲなどを採取し、標本化しました。他では見ることのできない特徴的なスゲの生える黒島で調査できたことは非常によかったと思います。

鹿児島の動物⑪

ブラーミニメクラヘビ

動物担当 山田島 崇文

県内ではトカラ列島以南に分布しているとされていますが、2009年4月に指宿市で、5月には鹿屋市で相次いで見つかったのが、ヘビ亜目メクラヘビ科のブラーミニメクラヘビです。国外では東南アジア、オセアニア、アフリカ、中米、太平洋諸島など世界中の熱帯・亜熱帯地域に分布しています。



ブラーミニメクラヘビ

ミミズのような外見をしています。体表はうろこで覆われています。眼が非常に小さく、



尾の先端

舌をときどき出します。尾は先端にいくにしたがって急に細くなり、その端は尖っています。この種の特徴は、すべての個体が雌（メス）であることが知られています。つまり、たった1匹だけで繁殖できるということになります。産卵期は南西諸島では6月中旬～7月中旬で、1～2cmほどの細長い卵を1～6個産み、50日ほどで子ヘビが誕生します。生まれてきた子ヘビは、遺伝子的には親兄弟すべて同じ遺伝子を持つクローンということがいえます。この繁殖様式に加えて、人為的な要因（例えば、植木の土に入り込んでいたり、ペットとして飼われていた個体が逃げ出したり）によって今日分布が広がっていると思われます。